

2012年5月14日

昭和電線ホールディングス株式会社  
(コード番号 5805)

中国で合弁事業を拡大  
・・・銅荒引線製造と事業統括会社の2社を設立・・・

昭和電線ケーブルシステム株式会社(取締役社長 山田眞彦)は、独自の銅荒引線の製造方法であるディップ・フォーミング・システムによる銅線材事業について、中国の電線メーカーの富通集团有限公司(中国:浙江省杭州市 董事長 王建沂、以下 富通集団)と中国第2の生産拠点となる合弁会社を設立しました。新会社:富通昭和線纜(天津)有限公司は、来年1月の操業開始に向け設備投資を進めています。

中国では、電力インフラ網や鉄道網の整備、自動車・家電の普及により付加価値の高い巻線用の銅線材として高品質な銅荒引線の需要拡大が期待されています。既に2010年7月に設立した合弁会社:杭州富通昭和銅業有限公司も現在同規模の増産投資を行っており、2013年には中国浙江省と天津市の2拠点で年間12万トン規模の荒引線製造ラインが整います。

また、富通集団と順次設立してきた浙江省富陽地区の合弁会社等3社の合理化・効率化を図るため、経理・総務・資材調達・設備保全・営業を統括する事業統括会社:富通昭和線纜(杭州)有限公司を合弁で設立し、間接部門の圧縮と販売体制の強化を進めています。今後は3社の製造部門を統合し、製販一体で中国民需分野向け産業用電線事業の拡大を推進していきます。

記

◇合弁会社の概要◇

1. 富通昭和線纜(天津)有限公司

- ①所在地 中国 天津市濱海高新区濱海科技园
- ②代表者 総経理 増田正裕(昭和電線ケーブルシステム株)
- ③登録資本 100,000 千円
- ④出資比率 昭和電線ケーブルシステム株50%、富通集団 50%
- ⑤設立日 2011年12月15日
- ⑥出荷計画 銅量 約6万トン/年〔2014年度〕
- ⑦投資計画 約10億円 2013年1月操業開始予定。
- ⑧面積 <土地> 約21,000 m<sup>2</sup> <工場>床面積 約12,000 m<sup>2</sup>
- ⑨従業員数 約70名



＝ 完成予想図 ＝

2. 富通昭和線纜(杭州)有限公司

- ①所在地 中国 浙江省富陽市富春街道金秋大道富通科技园
- ②代表者 総経理 徐建忠(富通集団)
- ③登録資本 100,000 千円
- ④出資比率 昭和電線ケーブルシステム株50%、富通集団 50%
- ⑤設立日 2011年12月12日
- ⑥売上計画 〔2014年度〕700億円
- ⑦組織体制 各社の間接部門を統合し30%圧縮し80名体制へ移行。今後、製造部門も統合し製販一体で事業拡大を推進する。



※FSCは富通集団の子会社

以上

この件に関するお問合せは、下記へお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5532-1911